

中学校社会 第1・2学年

各学年共通した課題		歴史の大きな流れを理解すること	
学年	設問	設問のねらいと問題の概要	正答率(%)
1	①の[3]③	○ 時差についての思考・判断・表現	49.6
2	⑦の[4]②	○ 中世や近世の出来事に関する思考・判断・表現	16.5
— 復習のポイント — 中学校第1・2学年の皆さんへ			
<p>◎ 諸資料に基づいて社会的事象を考察することを重視しましょう。</p> <p>社会科で学習する社会的事象の考察については、諸資料に基づいて考察することを重視しています。機械的・表面的な「記憶」ではなく、活用できる本当の意味での「知識・概念」とするために、社会的事象に関する複数の資料を活用し、社会的事象の意味や意義、事象の特色や事象間の関連を捉えたり、分かったことを整理したり、考えたことを自分の言葉で表現したりする言語活動を今後さらに充実させていきましょう。</p> <p>◎ 年表を活用して時系列で示すとともに、それぞれの出来事の関連を押さえて理解し、歴史的事象の意味や意義、転換の様子、時代の特色、事象間の関連などを自分の言葉で説明できるようにしましょう。特に、以下のポイントを意識して考えるようにしましょう。</p> <p>① 原因・理由・目的(なぜか、何のためか。) ② 影響(どのような影響を与えたのか。)</p> <p>③ 共通性・特色(どのような共通性、特色があるのか。)</p>			